

後援会会員加入状況と会費入金状況

(平成21年3月15日現在)

○ 正会員（保護者）	76名	602,400円
○ 個人会員	59名	272,000円
○ 団体会員	3社	30,000円
合 計		904,400円

後援会会員募集

「仙台つるがや福祉会 後援会」入会をお願いします

● 会費 1口以上、何口でもかまいません

正会員	一口年額	3,600円（ワークつるがや利用者保護者）
個人会員	一口年額	3,000円
団体会員	一口年額	10,000円

● 会費納入方法

会費は、現金または郵便局の払込取扱票にてお願いいたします。

払込先：口座記号番号 02280-0-92146
加入者名 仙台つるがや福祉会後援会

後援会 会報委員長 佐々木剛一



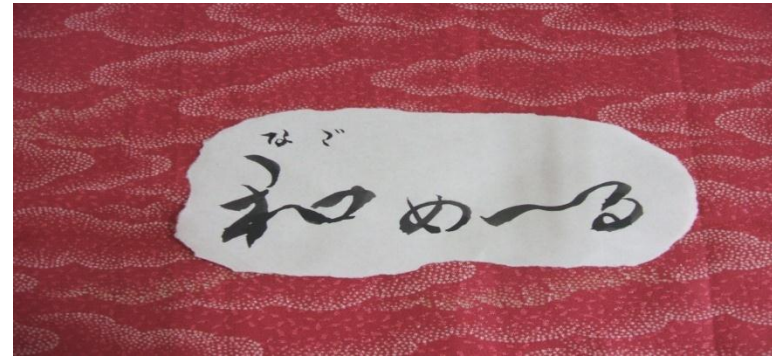
「ワークつるがや」は順調な事業運営を維持しながら3年目を迎えようとしております。会報委員会としましては、事業者が実施している、生活介護・就労支援・短期入所それぞれに従事・参加している利用者の活動状況を中心に、保護者の感想・意見等を掲載しながら、法人が自立生活という役割に向けて成果を上げていること紹介してまいります。

また、「なご味」を中心とした地域の方々との交流状況や、各種行事の様子等についても積極的に発信していきたいと考えております。

会報を通して、法人と利用者・保護者と後援会が連携できる関係づくりを目指して、年2回の会報発行に努めてまいります。

記事に対する皆様方の忌憚のない意見・要望を寄せていただきますようお願いいたします。

仙台つるがや福祉会後援会通信



発行日：平成21年3月 第2号
発行元：仙台つるがや福祉会後援会
発行責任者：後援会会長 佐々木 謙
住 所：仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-22-1
電 話：022-395-7966
F a x：022-395-7968

ワークつるがや 施設長 菊地 正隆



「ワークつるがや」は、仙台市つるがや福祉作業所の民営化により、障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業（生活介護、就労継続支援B型、短期入所）を開始してから早2年を経過しようとしております。利用者の皆さんも、新しい事業所の中で、箱折り、銅線解体、木工品や葦製品の製作、ぼかし製造、そして新規事業の製麺、軽食喫茶事業に従事し、毎日の作業に意欲を持って取り組んでおります。

働く環境が整い、利用者のこれからを考えると、親が健康なうちは、家庭から通うことが利用者にとっても家族にとっても幸せなことという考え方もありますが、早いうちから自立の準備をしていくことも大切であると思います。その意味で、私たちは、その体制の整備を図っていくことが課題であります。

第一ステップとして、平成22年度から、仙台市の補助事業である自立体験スティ事業に取り組み、これを土台にケアホーム・グループホームを開設してまいりたいと考えております。

今後、その事業に向けて頑張ってまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

後援会 事業委員長 後藤 順一



会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃から当後援会の活動に対しまして温かいご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年4月に後援会発足いたしましたが、「ワークつるがや」の保護者の方々の正会員としての加入は100%となっております。これはひとえに、保護者の皆様のご理解とご支援の賜物と心から感謝致しております。また、会費の入金状況は904,400円（平成21年3月現在）と当初計画を達成いたしました。

近い将来、仙台つるがや福祉会はグループホーム、ケアホーム設置に向けて事業展開を計り、その前段として自立体験スティを検討中と聞いております。私たちは「我が子を親亡き後も安心して託せる施設づくり」を念頭に施設を立ち上げてまいりました。計画が具体化の折には、当後援会は全面的に協力と支援を考えております。その時には会員の皆様にご協力をお願い申し上げます。

お待ちしております



- 麺工房では5名の利用者が、すっぽりと作業衣に身を包んで、うどん作りをしています。
うどんは、腰の強い無漂白……一度食べたらやめられないと評判です。
- 「麺とコーヒーの店なご味」は、茹でたてうどんを旬の食材とともにご提供する店。食後のコーヒー手作りケーキも抜群！ご近所の皆様から愛されている鶴ヶ谷地区の穴場です。
会議などにもご利用いただけますので、ご相談ください。4名の利用者が笑顔で



麺さばきもすっかり板についてきました。水分量は季節によって変わってきます。

営業日
平日9:30~16:30
連絡先
022(395)7966



製品に添付する麺工房のシンボルスタンプを押印しています。（「味」の花押です）



麺をパックに詰めて、注文に合わせて、配達準備をしています。



麺は、専用の大釜で茹でます。ゆで加減は美味しさの決め手です。



食器やお盆をきれいに洗って、消毒をして、明日のお客様に備えます。



接客は、いつも笑顔で、料理がさらに美味しくなります。



店内、厨房は、いつも明るく清潔に心がけています。

自立をめざして

ワークつるがやの二階にある「いこい」では、ショートステイ（短期入所事業）をおこなっています。家族の都合で障害者を介護できない場合や、家庭以外の場所で生活する体験を希望する場合に利用します。「いこい」では、利用者3~4名と支援員が宿泊し、一緒に食事を作ったり、掃除をしたり……家にいるときと同じような生活を送ります。

この体験をとおして、いつか親（家族）から自立して、ケアホームで仲間と共同生活ができる力を培っていききたいものです。



おふとんたたみます

本気で自立の道を探らなければ！！

できることならこの子の人生を看取ってやりたいと願いながらも、そうはいかない現実に思いあぐねておりました。

そんな時ワークでの短期入所事業がスタートしました。他の施設での宿泊は拒否していたのに、慣れたワークということでスムーズに受け入れることができ、今は毎回楽しみとなっています。

少しずつではあっても、遅くなっていく我が子の姿に後押しされるように親の気持ちも、本気で自立の道を探らなければと、考えさせられるようになりました

災害時の備えを

親の都合で、息子の短期入所をお願いしていた6月14日に、岩手・宮城内陸地震が発生しました。息子の安否が気になりワークに連絡しようとしたがつながりませんでした。

災害用伝言ダイヤルがあるのを思いつき、つないでみましたがメッセージが入っていませんでした。災害時は、「災害用伝言ダイヤル」を活用し、利用者の安否が確認できるようにしていただきたいと思います。

⇒（ワークつるがやより）早速、災害用伝言ダイヤルを利用できるよう、職員研修を行いました。ご安心ください。



のんびりと食事前のひととき

新成人を祝う会

ワークつるがやの5人の利用者が新成人となりました。これからも健康で、楽しく過ごしましょう！



ハタチの息子へ

ふがいない親の下で
素直に育ってくれてありがとう。
感謝する心を教えてくれてありがとう。
私達のもとに生まれてくれてありがとう。
そして
支えてくださる皆様ありがとうございます。

感激の「頑張ります」

先日は、わが子を含め5人の新成人のために心温まる祝う会を開いて頂き本当にありがとうございました。

着慣れないスーツに緊張気味の息子は、つたない言葉で一言「頑張ります」と新成人の決意を述べることができました。